

JMAAB Section	JMAAB ID	JMAABルール名	MBAC規約	MBAC規約ID	MBAC規約でのJMAABサブID対応
2.1.1.	ar_0001	ファイル名に使用できる文字	○	a_0001	bは非適用
2.1.2.	ar_0002	フォルダー名に使用できる文字	○	a_0001	全て適用
2.1.3.	jc_0241	モデルファイル名の文字数制限	○	a_0002	全て適用+オリジナルサブID追加
2.1.4.	jc_0242	フォルダー名の文字数制限	×	-	-
2.2.1.	jc_0201	サブシステム名に使用できる文字	○	b_0001	全て適用
2.2.2.	jc_0231	ブロック名に使用できる文字	○	b_0001	全て適用
2.2.3.	jc_0211	Inportブロック / Outportブロックに使用できる文字	○	b_0001	全て適用
2.2.4.	jc_0243	サブシステム名の文字数制限	○	b_0002	全て適用
2.2.5.	jc_0247	ブロック名の文字数制限	○	b_0002	全て適用
2.2.6.	jc_0244	Inportブロック名 / Outportブロック名の文字数制限	○	b_0002	全て適用
2.2.7.	jc_0222	信号名 / バス名に使用できる文字	○	b_0003	全て適用
2.2.8.	jc_0232	パラメーター名に使用できる文字	○	b_0003	全て適用
2.2.9.	jc_0245	信号名 / バス名の文字数制限	×	-	-
2.2.10.	jc_0246	パラメーター名の文字数制限	×	-	-
2.2.11.	jc_0795	Stateflowデータ名に使用できる文字	○	c_0001	全て適用+オリジナルサブID追加
2.2.12.	jc_0796	Stateflowデータ名の文字数制限	×	-	-
2.2.13.	jc_0791	定義データ名の重複	○	bc_0001	全て適用
2.2.14.	jc_0792	未使用のデータ	○	x_0001	全て適用
2.3.1.	db_0043	モデルで使用するフォントとフォントサイズ	○	v_0001	全て適用(規約が似ているサブIDをマージ)
2.3.2.	jc_0644	型の設定方法	○	bc_0002	全て適用
3.1.1.	jc_0011	論理信号に対する最適化パラメーター設定	○	b_0004	全て適用
3.1.2.	jc_0642	整数丸めモードの設定	○	b_0005	全て適用
3.1.3.	jc_0806	不正な演算結果の検出	○	b_0006	全て適用+オリジナルサブID追加
3.2.1.	na_0004	Simulinkモデルの表示設定	○	v_0002	全て適用
3.2.2.	jm_0002	ブロックのサイズ調整	○	v_0003	全て適用
3.2.3.	db_0142	ブロック名の位置	○	v_0004	全て適用
3.2.4.	jc_0061	ブロック名の表示	○	v_0005	全て適用
3.2.5.	db_0140	ブロックパラメーターの表示	○	v_0006	全て適用
3.2.6.	jc_0603	モデルの説明	○	v_0007	全て適用
3.2.7.	jc_0604	ブロックの陰影	○	v_0008	全て適用
3.2.8.	db_0081	未接続の信号 / ブロック	○	b_0007	全て適用
3.2.9.	db_0032	信号線の結線	○	v_0009	a1は非適用
3.2.10.	db_0141	Simulinkモデルの信号フロー	○	v_0010	全て適用
3.2.11.	jc_0110	ブロックの向き	○	v_0010	db_0141のサブIDにマージ
3.2.12.	jc_0171	構造サブシステム間の接続関係の明確化	○	v_0011	全て適用
3.2.13.	jc_0602	モデル要素の名前の一致	○	v_0012	全て適用
3.2.14.	jc_0281	トリガー信号の名前	○	v_0013	a1からa4をaとしてマージ、b1からb4は非適用
3.2.15.	db_0143	各モデル階層で使用できるブロックタイプ	×	-	-
3.2.16.	db_0144	サブシステムの使用方法	×	-	-
3.2.17.	jc_0653	フィードバックループにおける遅延ブロックの配置方法	×	-	-
3.3.1.	na_0010	ベクトル信号 / バス信号の使用方法	○	b_0008	全て適用
3.3.2.	jc_0008	信号名の定義	×	-	-
3.3.3.	jc_0009	信号名の伝播表示	×	-	-
3.3.4.	db_0097	信号とバスのラベルの位置	×	-	-
3.4.1.	db_0112	インデックスの使用方法	○	b_0009	a2は非適用
3.4.2.	db_0110	ブロックパラメーターの記述方法	○	b_0010	全て適用
3.4.3.	jc_0645	キャリブレーション対象の名前付き定数設定	○	b_0011	全て適用
3.4.4.	jc_0641	サンプル時間の設定	○	b_0012	全て適用
3.4.5.	jc_0643	固定小数点設定	○	b_0013	全て適用
3.5.1.	db_0146	条件付きサブシステム内のブロック配置	○	b_0014	aは適用、bは「ForEach」のみ適用
3.5.2.	jc_0640	条件付きサブシステムにおけるOutportブロックの初期値設定	○	b_0015	全て適用
3.5.3.	jc_0659	Mergeブロックへ入力する信号線の使用制限	○	b_0016	全て適用
3.5.4.	na_0003	Ifブロックの使用方法	○	b_0017	全て適用
3.5.5.	jc_0656	条件付き制御フローブロックの使用方法	○	b_0018	全て適用
3.5.6.	jc_0657	条件付き制御フローブロックとMergeブロックによる出力値保持	○	b_0019	a1は非適用
3.6.1.	na_0002	基本的な論理演算と数値演算の適切な実装	○	b_0020	全て適用
3.6.2.	jc_0121	加減算ブロックの使用方法	○	b_0021	全て適用
3.6.3.	jc_0610	乗除算ブロックの演算子順序	○	b_0022	全て適用
3.6.4.	jc_0611	乗除算ブロックの入力符号	○	b_0023	全て適用
3.6.5.	jc_0794	Simulinkにおける除算	○	b_0024	全て適用+オリジナルの例外を追加
3.6.6.	jc_0805	数値演算ブロックの入力	○	b_0025	a1とa2をaにマージ、c2及びf2は非適用
3.6.7.	jc_0622	Fcnブロックの使用方法	○	b_0026	全て適用
3.6.8.	jc_0621	論理演算ブロックのアイコン形状	○	b_0027	全て適用
3.6.9.	jc_0131	Relational Operatorの使用方法	○	b_0028	全て適用
3.6.10.	jc_0800	Simulinkにおける浮動小数点型の比較	○	b_0029	全て適用
3.6.11.	jc_0626	Lookup Table系ブロックの使用方法	○	b_0030	全て適用
3.6.12.	jc_0623	連続系遅延ブロックと離散系遅延ブロックの使い分け	○	b_0031	全て適用
3.6.13.	jc_0624	Tapped Delayブロック / Delayブロックの使用方法	○	b_0032	全て適用
3.6.14.	jc_0627	Discrete-TimeIntegratorブロックの使用方法	○	b_0033	全て適用

3.6.15.	jc_0628	Saturationブロックの使用方法	○	b_0034	全て適用
3.6.16.	jc_0651	型変換を実施する場合の使用方法	○	b_0035	全て適用
3.7.1.	db_0042	Inportブロック / Outportブロックの使用方法	○	b_0036	cは非適用
3.7.2.	jc_0081	Inportブロック / Outportブロックのアイコン表示	○	b_0037	全て適用
3.7.3.	na_0011	Goto / Fromの範囲	○	b_0038	全て適用
3.7.4.	jc_0161	Data Store Memoryブロックの定義方法	○	b_0039	全て適用
3.7.5.	jc_0141	Switchブロックの使用方法	○	b_0040	JMAABサブIDのaを、aとbに分割
3.7.6.	jc_0650	切替機能を持つブロックの入出力データ型	○	b_0041	全て適用
3.7.7.	jc_0630	Multiport Switchブロックの使用方法	○	b_0042	全て適用
4.1.1.	db_0122	StateflowとSimulinkの接続信号とパラメーター	※	-	-
4.1.2.	jc_0712	デフォルト遷移バスの実行タイミング	※	-	-
4.1.3.	jc_0700	Stateflowブロックにおける未使用のデータ	※	-	-
4.1.4.	db_0125	Stateflowのローカルデータ	※	-	-
4.1.5.	jc_0701	最初のインデックスで使用可能な数値	※	-	-
4.1.6.	jc_0722	パラレルステートにおけるローカルデータの設定方法	※	-	-
4.1.7.	db_0126	Stateflowのイベントの定義方法	※	-	-
4.2.1.	jc_0797	未接続の遷移線 / ステート / コネクティブジャンクション	※	-	-
4.2.2.	db_0137	ステートチャートのステート	※	-	-
4.2.3.	jc_0721	パラレルステートの使用方法	※	-	-
4.2.4.	db_0129	遷移線の結線	※	-	-
4.2.5.	jc_0531	デフォルト遷移	※	-	-
4.2.6.	jc_0723	外部ステートから子ステートへの直接遷移の禁止	※	-	-
4.2.7.	jc_0751	状態遷移におけるバックトラックの予防	※	-	-
4.2.8.	jc_0760	内部遷移線の始点	※	-	-
4.2.9.	jc_0763	複数の内部遷移の記述方法	※	-	-
4.2.10.	jc_0762	ステートアクションタイプとフローチャート記述の併用禁止	※	-	-
4.2.11.	db_0132	フローチャートの遷移	※	-	-
4.2.12.	jc_0773	フローチャートの無条件遷移	※	-	-
4.2.13.	jc_0775	フローチャートの終端コネクティブジャンクション	※	-	-
4.2.14.	jc_0738	Stateflowでのコメントの書き方	※	-	-
4.3.1.	jc_0790	Chartブロックのアクション言語	※	-	-
4.3.2.	jc_0702	Stateflowのパラメーター / 定数名の設定	※	-	-
4.3.3.	jm_0011	Stateflowのポインタ	※	-	-
4.3.4.	jc_0491	Stateflowにおけるデータの再利用	※	-	-
4.3.5.	jm_0012	イベントブロードキャストとイベントの使用制限	※	-	-
4.3.6.	jc_0733	ステートアクションタイプの記述順序	※	-	-
4.3.7.	jc_0734	ステートアクションタイプの記述回数	※	-	-
4.3.8.	jc_0740	ステートアクションタイプexitの使用制限	※	-	-
4.3.9.	jc_0741	ステートチャートの遷移条件に使用するデータの更新タイミング	※	-	-
4.3.10.	jc_0772	遷移線の実行順序と遷移条件	※	-	-
4.3.11.	jc_0753	Stateflowにおける条件アクションと遷移アクション	※	-	-
4.3.12.	jc_0711	Stateflowにおける除算	※	-	-
4.3.13.	db_0127	Stateflowブロック内のMATLABコマンド使用制限	※	-	-
4.3.14.	jc_0481	Stateflowにおける浮動小数点型の比較	※	-	-
4.3.15.	na_0001	Stateflowにおける演算子の統一	※	-	-
4.3.16.	jc_0655	Stateflowにおける論理型の比較演算禁止	※	-	-
4.3.17.	jc_0451	符号なし整数に対する単項マイナス	※	-	-
4.3.18.	jc_0802	Stateflowにおける暗黙の型変換の禁止	※	-	-
4.3.19.	jc_0803	ライブラリ関数に引き渡される値	※	-	-
4.4.1.	jc_0732	ステート名 / データ名 / イベント名の区別	※	-	-
4.4.2.	jc_0730	Stateflowブロック内でのステート名の独立性	※	-	-
4.4.3.	jc_0731	ステート名の記述	※	-	-
4.4.4.	jc_0501	ステートラベルの改行	※	-	-
4.4.5.	jc_0736	Stateflowブロック内のインデント統一	※	-	-
4.4.6.	jc_0739	ステート内テキストの記述方法	※	-	-
4.4.7.	jc_0770	遷移ラベルの配置	※	-	-
4.4.8.	jc_0771	遷移ラベル内のコメントの配置	※	-	-
4.4.9.	jc_0752	遷移ラベルにおける条件アクションの記述方法	※	-	-
4.4.10.	jc_0774	処理なし無条件遷移へのコメント	※	-	-
4.5.1.	jc_0511	グラフィカル関数からの戻り値の設定	※	-	-
4.5.2.	jc_0804	グラフィカル関数による再帰的呼び出しの禁止	※	-	-
4.5.3.	na_0042	Simulink関数を使用する場合	※	-	-
4.5.4.	na_0039	Chartブロック内のSimulink関数の制約	※	-	-
5.1.1.	na_0037	単一変数のバリエーション条件式の使用	×	-	-
5.1.2.	na_0020	バリエーションシステムへの入力数	×	-	-
5.1.3.	na_0036	既定のバリエーション	×	-	-
5.1.4.	na_0031	列挙型の既定値の定義	○	d_0001	全て適用
5.1.5.	na_0034	MATLAB Functionブロックの入出力設定	×	-	-
5.1.6.	na_0024	MATLAB Function間における共通データ	×	-	-
5.1.7.	na_0021	MATLAB Functionにおける文字列	×	-	-
5.1.8.	jc_0801	コメント記号/*、*/の使用禁止	○	d_0002	全て適用